**環境教育及び環境保全活動の促進に関する協定に定める事項の実施状況の評価について**

■協定の概要

|  |
| --- |
| * 大阪府と東京海上日動火災保険株式会社（以下、「東京海上日動」という。）は「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」に基づく協定を平成26年１月に締結。
* 相互に連携及び協力を図りながら、府民を対象とした大阪府における環境教育及び環境保全活動を協働で行い、持続可能な地域社会の実現に資することを目的とする。
 |

■協定における9年目の基本的役割について

|  |  |
| --- | --- |
| 主体 | 評価事項 |
| 大阪府 | **○ 事業に関する広報活動：** | 府ホームページへの情報掲載を行った。 |
| 《10年目に向けての方針、課題等》 | 「体験の機会の場」の提供に加え、近年話題になっているプラスチックごみ問題や地球温暖化などの環境問題についても伝えていく場にする。取組の継続実施に向け支援・助言を行い、事業に関する広報についても、より多くの方々に参加いただけるよう、積極的に事業周知を図っていく。 |
| 東京海上日動 | ○ **事業の企画提案及び実施：** | 「Green Gift 地球元気プログラム」において、日本パークレンジャー協会が実施した計2回のイベントのプログラム企画、運営等の支援を行った。 |
| ○ **実施主体（ＮＰＯ法人等）への支援：** | 日本パークレンジャー協会が実施するプログラムに対して、認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター（以下、「日本NPOセンター」という。）を通じて協賛した。 |
| ○ **事業に関する広報活動：** | ホームページによるイベント情報の掲載や、代理店を通じたチラシ配架、イベント参加募集の呼びかけを行った。 |
| ○ **社員やその家族等への環境教育：** | 社員、代理店及び関係者並びにその家族のイベント参加を促し、社内における環境教育を推進した。 |
| 《10年目に向けての方針、課題等》 | 自然体験型の「Green Gift 地球元気プログラム」は2022年9月末で終了。2022年10月から東京海上日動全体として森を守る活動・海を守る活動をスタートした。（<https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/world/greengift/internal_activity/conserve.html>）。そのうちの海を守る活動の「アマモ場保全・再生活動」については、東京湾（横浜）以外へも支援・活動地域を順次拡大予定。また、出前授業プログラムとして、みどりの授業（地球温暖化含む）を府教育庁のホームページで周知。（<https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/kankyo-top/kankyo.html>） |

**［評価］本協定に係る事業実施に際し、両者が適切な基本的役割を果たし、効果的な取組の推進に寄与した。**

\*　「Green Gift」プロジェクトとは：東京海上日動が「お客様とご一緒に環境保護活動を行う」ことを基本コンセプトとして実施する地球環境保護プロジェクト。契約時に「ご契約のしおり（約款）」等を紙の冊子ではなく、ホームページ上で閲覧する方法が選択された場合、紙資源の使用量削減額の一部を国内外の環境保護活動に役立てている。国内環境保護活動においては、日本NPOセンター、各地域の環境NPOと協働して実施している。

■実施イベント等について

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| イベント名 | 実施日 | 実施場所 | 実施内容 | 参加人数　等 |
| 作ってみようmy竹トンボ | 令和4年5月8日（日） |  府民の森むろいけ園地森の宝島わいわい広場 | 竹を切りナイフで削って竹とんぼを作って遊ぶ1.竹の紹介をする中で、その性質や役立ちを伝える2.ナイフの使い方を覚えてもらう3.竹トンボができたら作って飛ばして遊ぶ | こども14名家族・保護者10名計24名参加 |
| サクラの小枝で作るモックン | 令和4年7月10日（日） |  府民の森ほしだ園地ピトンの小屋横の広場 | サクラの小枝をナイフで切ったり/削ったりしてモックン(人形)を作る1.自然材料のサクラの紹介をしてその役立ちを伝える2.ナイフの使い方を覚えてもらう3.キーホルダーにして完成 | こども8名家族・保護者8名計16名 |

　**［評価］計２回のイベントの実施を通じて、環境教育及び環境保全活動の促進を図ることができた。**